

No. J01	A グループ	年 月 日	令和5年11月5日(日)
---------	--------	-------	--------------

設問

[問い合わせ 1]

事例 I では、自信のなさを見透かされている気がして動搖している CL を受容せず、新たなスキルを身につけるよう説得している。また、CL はもっと経験を積む必要があると決めつけ、失敗しても諦めなければ成長につながると誘導的な関わりになっている。一方、事例 II では、お客様とのやり取りで動搖した背景を問い合わせ、周りの目を気にして自信を失っていたご自身について内省を促している。さらに、「Aさんにとて自信とは周りに認めてもらうことなのですか」と問い合わせることで、CL にとっての自信に対する自問自答が始まり、自己理解が深まっているように思われる。

[問い合わせ 2]

事例 I の CCT7 (相応しい・相応しくない)

理由：企画が通らなかつたのは「Aさんの思いが担当者に伝わらなかつた」からと結論づけ、新しいスキルが必要と決めつけていることから、信頼関係の構築ができていないと思われるため。

事例 II の CCT9 (相応しい・相応しくない)

理由：CL にとっての自信と周りに認めてもらうこととの関係について焦点を当て、CL にとっての自信について内省を促し、自信のない自分を隠そうとしていた気持ちへの気づきにつながったため。

[問い合わせ 3]

CL7 の「周りの目も気になり、自信がなくなつて、とても焦っていました」や、CL10 の「周りに認めてもらおうとする思いが強いほど、自信がなくなるような気もしてきました」という発言から自己効力感の低下が見受けられる。また、CL8 の「自信を持つためには知識やスキルを身につけることだと思い」や CL11 の「そうすることで自信のない自分を隠そうとしていたのかな」という発言から、何のために知識やスキルを身につけるかというキャリアプランについての自己理解不足が見受けられる。

[問い合わせ 4]

同期に取り残されて焦りを感じながら、チャンスをつぶしたくないと必死で企画に取り組む CL を労い、引き続き信頼関係の構築に努める。CL が今までの経験や読書・セミナーなどで学んだ知識やスキルを棚卸しし、ご自身の強みや身につけた能力について客観的に振り返ることで、自己効力感を高めていただく。そのうえで、CL にとっての自信や、自信を持てる自分とはどういうものかを傾聴し、今後のキャリアプランについて内省を促すことで自己理解が深まるように関わる。これらにより、CL がご自身のキャリアプランを明確にしたうえで、自信を持って主体的に仕事に取り組めるよう支援していく。

No. J01	B グループ	年 月 日	令和5年11月5日(日)
---------	--------	-------	--------------

## 設問

## [問い合わせ 1]

事例 I でのキャリアコンサルタントは、初めて任されたメイン担当で気合いを入れて取り組み、客先に対して一生懸命説明したものの受け入れてもらえなかつた背景を受容せず、「プレゼンテーション力のスキルも必要ではないですか」と決めつけ、「経験を積む必要がある」と説得をしてしまっている。一方事例 II は、相談者の話を傾聴し、受容していることで「Bさんに追いつけるチャンス」「このチャンスをつぶしたくない」という思いを話して頂いている。これまで繰り返しされた言葉に対し CCt9 の質問で焦点を当てることで、自然に自問自答へつながるように誘導した応答となっている。

## [問い合わせ 2]

## 事例 I の CCt7 (相応しい・相応しくない)

理由：相談者の気持ちや思いを受容せず、信頼関係の構築が十分でない段階で、キャリアコンサルタントの強い見立てによる応答であると考える。その後も相談者の不安をあおる展開となっている。

## 事例 II の CCt9 (相応しい・相応しくない)

理由：繰り返し発言のあった「自信」「周りに認めてもらう」という言葉に焦点を当てたことで、相談者が内省を始めるきっかけとなっている。これまでの振り返りにもつながる応答であると考える。

## [問い合わせ 3]

問題は次の2点と考える。(1) CL7 より「周りの目も気になり、自信がなくなつて、とても焦っていました」。CL10 より「周りに認めてもらおうとする思いが強いほど、自信がなくなるような気もしてきました」という発言から、相談者の自己理解不足。(2) CL2 「実は今回初めてメイン担当を任されて、気合いを入れて取り組んだのですが…」。CL4 より「一生懸命に説明したのですが受け入れてもらえませんでした」という発言から、ご自身の担当業務および客先が求める内容の仕事理解不足。

## [問い合わせ 4]

相談者の「この先やっていけるのか不安」というお気持ちに寄り添いながら、「自信のない自分を隠そ  
うとしていたのかな…」という感情に焦点を当て、丁寧に傾聴することで信頼関係の構築に努める。  
それによって(1)の解消として、相談者にとっての自信について深堀りする質問をすることで内省  
を促し、自己理解を促進する。(2)の解消は、相談者の仕事について求められていることに関するこ  
とおよび今の仕事をやっていてどう思うのか質問し、仕事理解を確認し、振り返っていただく。以上  
のことから、相談者の不安を解消し前向きな働き方を主体的に選択、実行できるよう支援する。